



2010年、12年、15年、20年の生産台数を予測！

日本メーカーの乗用車モデル別生産予測と新型車投入計画

— 日本・米国・中国生産車の2020年までを展望 — 2010年版

好評受付中！

2010年3月2日発行

■体 裁：A4判／566頁
■定 価：102,900円
(価格は税込、送料込み)

株式会社 **アイールシー**

本 社：〒453-0801 名古屋市千区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225

<http://www.eIRC.co.jp> でも調査資料の詳細がご覧いただけます。

発刊にあたり

2008年9月のリーマンショックが招いた100年に一度とも言われる未曾有の経済危機を機に大転換期を迎えている。その象徴的な動きが「アメリカビッグスリーの聚落」、「中国の自動車販売世界トップ」であり、業界全体の構図のみならず、市場構造も大きな変化をみせている。

こうしたなか、自動車メーカーにとって生き残りの鍵になるのが、「低コスト化」、「エコカー開発」、「新興国の開拓」といえ、その対応としてスズキと独VWが2009年12月に資本・業務提携で合意、また両社に先立って三菱自動車と仏PSAが資本提携に向けた検討を始めたことが明らかになるなど、日本メーカーを巻き込んだ新たな連携の動きが表面化し、再び国境を越えた合従連衡が加速してきており、これに伴って勢力図が激変する可能性がでてきている。

本調査資料は、高い燃費性能と価格競争力を武器に、ライバルの欧米メーカーを凌駕し、躍進を遂げた日本自動車メーカーの主力乗用車における過去10年間のモデルチェンジ推移と生産実績をまとめます。また、エコカーや新興国向け低価格コンパクトカーなどに新車開発の軸をシフトし始めた国内乗用車メーカー8社の新型乗用車投入計画を展望するとともに、そのデータと過去の生産実績を踏まえ、足元の日本はもとより、ビッグスリー体制崩壊という業界勢力図の激変に対応するべく、事業再構築に取り組む米国、世界同時不況以前の販売水準に戻り、世界一の自動車市場に成長した中国の3カ国における乗用車生産モデルの2010年、2012年、2015年、2020年の生産台数を明らかにします。

第 - 1 表 日産自動車の新型車投入計画と生産台数予測(国内生産車)(3)

モデル	2008年実績	前年比	2009年実績	前
バルサー	53,717	260.5	10,146	09
M C 動向	2012年予測	09年比	2015年予測	09
ティアダ	122,761	108.6	72,040	09
M C 動向	2009年4月 一部改良 2010年12月 初のフルモデルチェンジ(2代目) 2016年12月 2回目のフルモデルチェンジ(3代目)	09年比	2015年予測	09
ノート	68,470	130.5	62,518	09
M C 動向	2009年4月 一部改良 2012年5月 初のフルモデルチェンジ(2代目) 2019年5月 2回目のフルモデルチェンジ(3代目)	09年比	2015年予測	09
キューブ	50,583	96.1	107,86	前
M C 動向	2009年4月 一部改良 2014年11月 3回目のフルモデルチェンジ(4代目) 2020年11月 4回目のフルモデルチェンジ(5代目)	09年比	2015年予測	前
マーチ	54,264	113.1	41,99	前
M C 動向	2009年5月 一部改良 2010年8月 生産中止	09年比	2015年予測	前
プレサージュ	3,520	45.1	2,100	前
M C 動向	2009年8月 生産中止	09年比	2015年予測	前

第 - 1 表 国内生産車のモデルチェンジ推移(1)

年	月	内 容
1989	11	「セルシオ」(4000cc, 4ドアセダン, FR) を発売
2006	9	3回目のフルモデルチェンジ(4代目) プレミアムブランド「レクサス」の国内販売チャンネルへ投入されるのを機に、これまで輸出仕様で使われていたLSへと車名を変更
2007	5	グレード:LS460, LS460バージョンS, LS460バージョンUの3グレードで、アルカンターラーフやセミアニン本革シートが標準となる「インテリアパッケージ」も全モデルに用意、エンジン:世界初となる電動連続可変バルブタイミング機構VVT-iEを吸気側に採用した新開発の1UR-FSE(V8-4600cc, 283kW)を、トランスミッション:世界初の8速ATを搭載、サスペンション:前後マルチリンク式で全車に電子制御式エアサスを採用、減衰力特性をきめ細かく制御するアダプティブ・バリアブル・サスペンション・システム(AVS)機能も搭載
2008	9	車種追加 LS600h/LS600hL (ハイブリッドモデル) 1UR-FSEエンジンをベースにストロークを拡大して5000ccの排気量を有す2UR-FSEエンジン+ハイブリッドシステムを搭載した全輪駆動(AWD)モデル グレード:LS600hL後席セパレートシートpackage、LS600hL、LS600hL version U-I package、LS600hL version U、LS600hL version S-I package、LS600hL version S、LS600hL I package、LS600hL エンジン:2UR-FSE(V8-5000cc D4-S-VVT-i/VVT-iE, 209kW)+2段変速リダクション機構付THS、4輪回生ブレーキ、P10W半導体モジュールパワーコントロールユニット 足廻り:トルセンLSDフルタイムAWD、電気式無段変速機、VDIM、電子制御式リヤエアサスペンション、電動式アクティブスタビライザー 装備:プリクラッシュセーフティシステム、レーダークルーズコントロール、レーンキーピングアシスト、インテリジェントパーキングアシスト、リヤシートリクライニングシステム、本革張りインストルメントパネル、LED光源3眼一体型プロジェクターランプ&小型反射鏡ヘッドランププロビーム、電動インバーターコンプレッサ4席独立温度調整オートエアコン、ハイブリッドシステムインジケータ、エネルギーモニター
2008	9	一部改良 ラゲージルーム容量を約50リットル拡大できるバンク修理キット(スベアタイヤレス)をOP設定、緊

第 - 2 表 ホンダの北米生産車モデル別生産台数推移

モデル	2000	前年比	2001	前年比	2002	前年比	2003	前年比
アクュラTL	83,893	106.2	78,314	93.3	72,119	92.1	60,397	83
アクュラCL	31,440	198.9	14,802	47.1	13,625	92.0	4,201	30
アコード	336,034	91.0	363,231	108.1	336,231	92.6	380,946	113
シビック	384,541	173.3	403,671	105.0	380,235	94.2	334,731	88
エレメント					3,608		84,280	2335
パイロット					64,224		116,968	182
パスポート	21,197	91.7	14,765	69.7	287	1.9		
オデッセイ	147,206	148.9	151,405	102.9	176,581	116.6	182,836	103
アクュラEL	8,097	105.4	9,398	116.1	8,163	86.9	5,620	68
アクュラMDX	12,702		44,832	353.0	58,969	131.5	67,564	114
合 計	1,025,110	144.6	1,080,418	105.4	1,114,042	103.1	1,237,543	111
モデル	2005	前年比	2006	前年比	2007	前年比	2008	前年比

[目 次]

第Ⅰ部 自動車産業の現況	第Ⅱ章 日産自動車
第Ⅰ章 世界の自動車産業	Ⅱ-1 国内生産車
Ⅰ-1 北米地域	Ⅱ-2 米国生産車
Ⅰ-2 中南米地域	Ⅱ-3 中国生産車
Ⅰ-3 欧州地域	第Ⅲ章 ホンダ
Ⅰ-4 CIS	(以下、各項同じ)
Ⅰ-5 アジア地域	第Ⅳ章 三菱自動車
Ⅰ-6 大洋州地域	第Ⅴ章 マツダ
Ⅰ-7 中近東・アフリカ地域	第Ⅵ章 スズキ
第Ⅱ章 日本の自動車産業	第Ⅶ章 ダイハツ
Ⅱ-1 国内経済動向	第Ⅷ章 富士重工
Ⅱ-2 生産動向	
Ⅱ-3 販売動向	第Ⅳ部 日本自動車産業の生産・販売台数予測
Ⅱ-4 輸出動向	第Ⅰ章 全世界生産台数予測
	第Ⅱ章 国内生産・販売台数予測
第Ⅱ部 自動車のモデルチェンジ	Ⅱ-1 メーカー別生産台数予測
第Ⅰ章 モデルチェンジの定義	Ⅱ-2 メーカー別販売台数予測
Ⅰ-1 フルモデルチェンジ	Ⅱ-3 メーカー別輸出台数予測
Ⅰ-2 マイナーチェンジ	第Ⅲ章 海外生産台数予測
Ⅰ-3 車種追加	Ⅲ-1 北米地域生産台数予測
Ⅰ-4 新設定	Ⅲ-2 欧州地域生産台数予測
第Ⅱ章 自動車メーカーのモデルチェンジ推移	Ⅲ-3 アジア地域生産台数予測
Ⅱ-1 トヨタ自動車のモデルチェンジ推移	
Ⅱ-2 日産自動車のモデルチェンジ推移	第Ⅴ部 自動車メーカーの新型車投入計画とモデル別生産予測
Ⅱ-3 ホンダのモデルチェンジ推移	第Ⅰ章 トヨタ自動車の新型車投入計画とモデル別生産予測
Ⅱ-4 三菱自動車のモデルチェンジ推移	Ⅰ-1 国内生産車の新型車投入計画とモデル別生産予測
Ⅱ-5 マツダのモデルチェンジ推移	Ⅰ-2 米国生産車(カナダを含む)の新型車投入計画と
Ⅱ-6 スズキのモデルチェンジ推移	モデル別生産予測
Ⅱ-7 ダイハツのモデルチェンジ推移	Ⅰ-3 中国生産車の新型車投入計画とモデル別生産予測
Ⅱ-8 富士重工のモデルチェンジ推移	第Ⅱ章 日産自動車の新型車投入計画とモデル別生産予測
	(以下、各項同じ)
第Ⅲ部 自動車メーカーのモデル別生産台数	第Ⅲ章 ホンダの新型車投入計画とモデル別生産予測
第Ⅰ章 トヨタ自動車	第Ⅳ章 三菱自動車の新型車投入計画とモデル別生産予測
Ⅰ-1 国内生産車	第Ⅴ章 マツダの新型車投入計画とモデル別生産予測
Ⅰ-2 米国生産車(カナダを含む)	第Ⅵ章 スズキの新型車投入計画とモデル別生産予測
Ⅰ-3 中国生産車	第Ⅶ章 ダイハツの新型車投入計画とモデル別生産予測
	第Ⅷ章 富士重工の新型車投入計画とモデル別生産予測

第Ⅰ部では、北米、中南米、欧州、CIS、アジア、大洋州、中近東・アフリカの各地域及び日本における2000年～2009年までの過去10年間(国、地域によっては99年～2008年)の生産、販売、輸出入実績の統計データを掲載し、各地の自動車産業を詳報しています。

第Ⅱ部では、国内乗用車メーカー8社の主要モデルにおける2000年から2009年(メーカーによっては2001年～2010年2月)までのフルモデルチェンジ、一部改良、車種追加の変遷と、市場投入から直近の全面改良、以後のモデルチェンジ動向などを図表にて整理しています。また、モデルチェンジの定義をフルモデルチェンジ、新設定、マイナーチェンジ(一部改良)、車種追加に分けてまとめています。

第Ⅲ部では、自動車メーカー別で2000年～2009年の過去10年間における乗用車モデル別生産統計を表にて掲載するとともに、そのデータに基づいて主要車種の生産動向を明らかにしています。

第Ⅳ部では、日本の自動車産業を展望すると共に、2010年、2012年、2015年、2020年の全世界生産台数に加え、国内生産、販売、輸出台数のほか、北米、欧州、アジアなど海外主要地域の現地生産台数をメーカー別に展望しています。

第Ⅴ部では、独自取材によるデータに基づき、弊社で予測した新車投入計画を自動車メーカー別でまとめるとともに、乗用車各モデルの2010年、2012年、2015年、2020年の国内生産台数に加え、米国、中国の現地生産車におけるモデルチェンジ計画、車種別生産台数も予測します。

◆ 申込方法



フリーダイヤル

FAX 0120-020-472

電話 052-451-8221(代)

※フリーダイヤルFaxをご使用になれない場合は、Fax 052-451-8246 をダイヤルしてください。また、電話による受け付けも行っております。

株式会社 アイアールシー 営業部

本社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225

-----< キ リ ト リ >-----

< I R C 行 オ ー ダ ー フ ォ ー ム >

◎弊社では見計りによる販売も行っております。通信欄に必要事項をご記入ください。

日本メーカーの乗用車モデル別生産予測と新型車投入計画 2010年版	定価：102,900円	部
■発刊：2010年3月2日	■体裁：A4判/566頁	

■当社の定価および予約価格(発刊までの代金前納に限る)は、消費税込、送料込み価格です。但し、海外への発送費はお客様負担となります。

◎封筒に貼付してあります顧客ラベルで、住所・担当者変更等がございましたら、このオーダーフォームに新旧をご記入の上、ご連絡ください。

会 社 名：

住 所：〒

電 話：

F a x：

購 入 部 課：

担 当 者 (氏 名)：

印 フルネームで
ご記入ください。役 職：

通 信 (見 計 り 希 望 な ど)：

自動車産業レポート

○チェック

※1ヶ月間の無料見本誌送付を希望 []